

平成 26 年 10 月 16 日および 17 日に日本政府の「草の根・人間の安全保障無償資金協力」の枠組みによる以下の署名式と 2 件の供与式が、実施されました。

1. 署名式：ガフ地区ジャライル村診療所建設計画（供与金額 102,975 米ドル）

ガフ地区ジャライル村に新規に診療所建物を建設し、適切な医療機材を供与することで、同村および周辺村落の住民の遠隔地基礎医療における機能向上を図るものです。



契約署名式典における高橋大使の
アゼルバイジャン語による挨拶

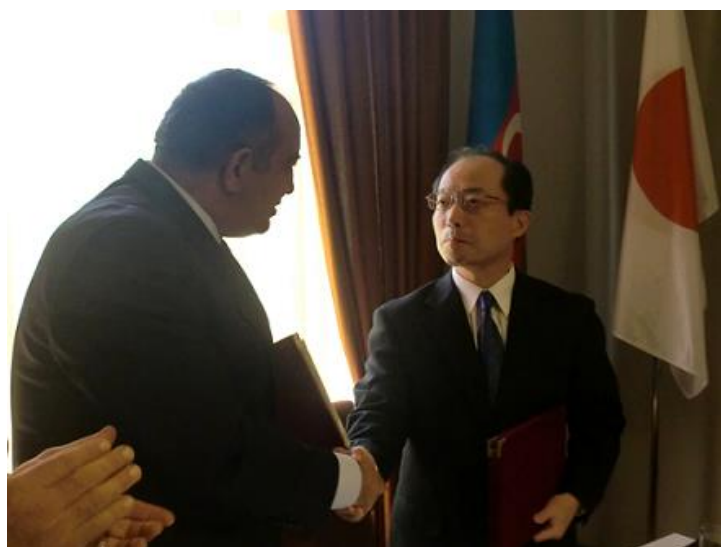


被供与団体CDセンター代表ヤシン氏と高橋大使が契約書に署名

ガフ地区行政局知事シャキリエフ氏による挨拶



シャキリエフ氏がプロジェクトへの協力を約束



2. 供与式：シェキ市第15幼稚園建設計画（供与金額121,693米ドル）

幼児の就学前教育環境の向上と母親の就業を円滑にするために、シェキ市第15幼稚園敷地内に幼児教育施設として適切な園舎（341 m²）を新規に建設し、登園児数の増加を図るものです。

高橋大使のアゼルバイジャン語による挨拶



ウスボフ・シェキ地区知事をはじめ、多くのシェキ地区行政関係者・市民が集った



クラスルーム（左）
お昼寝部屋（右）



3. 供与式：ギャンジャ市救急病院外科病棟改修計画（供与金額 121,813 米ドル）

老朽化し機能が低下したギャンジャ市救急病院の外科病棟（760㎡）を全面改修し、ギャンジ市を含む周辺9行政地区の医療アクセスの改善を図るものです。本件は同病院にて実施されたICU病棟および外傷病棟に次ぐ3件目の改修事業です。



高橋大使，ゼイナロフ・ギャンジャ市行政局第一副知事，ルザイエフ中央病院院長が出席



改修された外科病棟内の様子

